美工生の将来像

美工生は美術「で」学ぶ3年間のうちに、「好きなこと・向いていること・やりたいことは何か」など、自問自答を繰り返します。そうして描き上げる自らの将来設計を基に、それぞれの道へと進んでいきます。ここでは過去の実績や卒業生の声を紹介します。

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

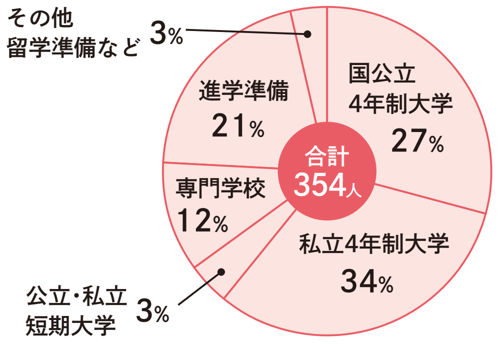
◆柔軟に粘り強く挑戦し続けられる心を育み、作品制作や言語表現を中心とした多様な表現活動や他者との関わりの中で、 新たな自分や価値を創造していく意欲と能力を有する。
◆美術領域の専門性や汎用的な知識・技能を活用し、将来、文化芸術の創造・発展に寄与し、世界と対話的に関わっていく態度と能力を有する。

データで見る進路

国公立4年制大学合格者数＊

大学名	R4年度	R5年度	R6年度
京都市立芸術大学	10	6	17
金沢美術工芸大学	2	2	3
富山大学	2	2	2
静岡文化芸術大学		1	1
愛知県立芸術大学		3	2
滋賀大学	1		
京都教育大学	2	2	1
奈良教育大学		1	
広島市立大学	9	3	3
尾道市立大学		1	
名桜大学		1	
沖縄県立芸術大学	2	1	
岡山県立大学		2	
信州大学	1		
国公立大学合計	29	25	29

進路の割合（過去4年間合計）



私立4年制大学合格者数＊

大学名	R4年度	R5年度	R6年度
武蔵野美術大学		1	2
多摩美術大学			2
文化学園大学	1		
成安造形大学	20	11	12
京都精華大学	8	7	18
京都芸術大学（旧 京都造形芸術大学）	6	3	9
京都美術工芸大学	1	2	4
嵯峨美術大学	10	7	10
京都先端科学大学		2	
佛教大学	1	1	
大谷大学	1		1
大正大学		1	
京都ノートルダム女子大学	1		
京都女子大学	1	1	
大阪芸術大学		3	2
大阪成蹊大学	2	1	
立命館大学			3
京都文教大学			2
京都産業大学			1
甲南大学			1
私立大学合計	52	40	67

＊過年度卒業生を含む

左の表は、直近4年間の美工生の進学実績です。上級学校へと進学した生徒は全体の76％。進学準備も含めると97％と、多くの生徒が次の学びへの意志を示しています。

また、ほとんどの生徒は美術系上級学校を志望しますが、看護系や教育系、文学・歴史系など、美術系以外の学部へと進学している生徒もいます。この方面への進学については教育課程上、生徒自身で努力し学ぶ必要があり、進む道を定めた美工生の行動力の強さを感じるところです。

拝啓、未来の後輩へ。

大好きなイルカの調教師、美術を用いてリハビリを行う作業療法士…美工生が望む未来は千差万別。本校を卒業し、様々な分野で活躍する先輩より、在学中に何を学び何を経験したのか、これから美工で学んでみたいと考える後輩たちに向けてのメッセージです。

平成27年度卒業 長谷川 湧希
ターナー色彩株式会社
大阪アート事業部

美術工芸高校の特徴は、３年間専攻授業を学ぶことができることです。

もちろん、はじめての内容は難しいこともあるかも知れません。ですが、知識・技術そして心の面でも先生方の手厚いサポートもあり、安心して打ち込むことができました。

美術にあふれた高校生活は、本当に充実した生活となります。専門高校へ行くという決断は大きな決断ですが、その選択をする皆さんは、大きな一歩踏み出すことができる勇気ある人です。

ぜひ、一歩踏み出すチャレンジしてみてください。ここにしかない体験が待っています。

平成27年度卒業 大里 真瑛子
株式会社岡墨光堂
修理技術者

「文化財の修理技術者になりたい」高2でできた友達は当時、そう口にしていました。様々な夢を持った同級生や、僅かに芽生えた興味を存分に膨らませてくれる先生に囲まれ、刺激と知的好奇心に溢れた3年間を過ごすことができました。

そして今、私はその友達と同じ職場で文化財の修理に携わっています。卒業生が口を揃えて言う「美工で得たものは一生物」という言葉に、深く頷いています。

その他の卒業生からのメッセージはこちら